

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		労働関係団体負担金事業				
	担当課・係名		産業振興課 商工観光係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	05 労働費		中分類	03 観光業と地域商業の振興	
項		01 労働諸費	小分類		03 地域商業の振興		
	目	01 労働諸費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		10	10	10	10	10
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	10	10	10	10	10
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか） 宮城県労働保険事務組合連合会						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか） ・適切な労働条件の確保 ・雇用主が法令に沿った雇用形態を遵守						
⑤	事業概要 ・労働団体への負担金 宮城県労働保険事務組合連合会 10,000円						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について 労働者の地位、経済、福祉、労働条件等の向上が求められている。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	宮城県労働協会通 常総会開催数	単位：回	実績値	1	1	1
				目標値	0	0	0
	定義 宮城県労働協会						
	B	宮城県労働保険事 務組合連合会通常 総会開催数	単位：回	実績値	1	1	1
				目標値	0	0	0
	定義 宮城県労働保険事務組合連合会						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						
	B		単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
	定義						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 14	労働者が安心して働くために必要な事業である
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	負担金を拠出することにより、労働者の福祉の維持に貢献している。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	労働者の福祉増進、安心して働く環境をを作るためには、同団体へ負担金を拠出するのが効率的である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	厳しい経済環境下での事業運営を支援していく必要がある。

⑪	課長総括評価 今後とも継続して行う必要がある。 合計点 42
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		商工業振興事業				
	担当課・係名		産業振興課 商工観光係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	07 商工費		中分類	03 観光業と地域商業の振興	
		項	01 商工費		小分類	03 地域商業の振興	
目		01 商工振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		115	115	89	89	89
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	115	115	89	89	89
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	大崎地域職業訓練協会						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・職業人として有能な技能労働者の養成と経済的・社会的地位の向上を推進 ・町内商工業者は中小企業が多く、その経営基盤の強化、安定を目指す 						
⑤	事業概要						
	職業能力開発事業への負担金						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	地元中小企業者の経営基盤の強化、安定に取り組む。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	単位：回	実績値	2	2	2	
			目標値	0	0	0	
	定義	町内在住の管理運営審議会委員					
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	通常総会回数 単位：回	実績値	1	1	1	
			目標値	0	0	0	
	定義	収支決算案及び予算案、事業計画案の審議を行う。					
	B	管理運営審議会回数 単位：回	実績値	1	1	1	
			目標値	0	0	0	
	定義	地域職業訓練センター運営を今後定住自立園協議で考える。					

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	3
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	3
評価の説明 職業訓練センターの各種講習を求職者、労働者に受講してもらい、技能向上を図り、早期の就職、待遇向上が期待できる。 点数 9	
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 技能習得により求職者には早期の就職、労働者には待遇の向上、事業者には生産性向上による更なる事業拡大につながる。 点数 12	
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 求職者、労働者向けに技能向上につながる多彩な講習が用意され、他の専門学校等と比較すると様々な面で受講しやすいと思われる。 点数 12	
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 雇用状況は一段と厳しい状況下であり、今後も地域産業の振興に寄与していく必要がある。 点数 4	

⑪	課長総括評価 今後も継続して行う。 合計点 37 今後の方向性 <input type="text" value="現状のまま継続"/>
---	---

⑫	二次評価 今後の方向性 <input type="text"/>
---	-------------------------------------

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		商工振興助成事業				
	担当課・係名		産業振興課 商工観光係				
予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03	生き生きと働くチカラ	
	款	07 商工費		中分類	03	観光業と地域商業の振興	
	項	01 商工費		小分類	03	地域商業の振興	
	目	01 商工振興費		重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>			
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		8,300	8,300	8,500	8,500	8,500
財源 内訳	国県支出金		0	0	0	0	0
	その他特定財源		500	500	500	500	500
	一般財源		7,800	7,800	8,000	8,000	8,000
※H29、H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	加美商工会、町内商工会員						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
	地元商工業者の組織である商工会に対し助成を行うことにより、商工業の振興及び商工業者の経営基盤の強化安定を目指す						
⑤	事業概要						
	商工会が行う経営改善普及事業、地域総合振興事業に要する経費に対する補助						
	①事業運営補助		3,100,000円				
	②青年部・女性部育成事業		100,000円				
	③割増商品券発行事業		2,200,000円				
	④シャクヤクまつり		100,000円				
	⑤人材育成事業		100,000円				
	⑥かっぱ夜市		100,000円				
	・しかまの冬イルミネーション		2,700,000円 うち500,000円(大崎ふるさとづくり基金市町助成金)				
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	長引く景気低迷により、町内商工業の経営環境は依然として厳しい状況である。また、少子高齢化による後継者不足も問題となっている。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	実施事業数	単位：回	実績値	4	4	4	
			目標値	0	0	0	
定義		・シャクヤクまつり・かっぱのふるさと祭り・町民秋まつり・割増商品券発行					
B	割増商品券	単位：枚	実績値	1,000	1,000	1,000	
			目標値	0	0	0	
定義		割増商品券の発行					
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	会員数（色麻町内）	単位：回	実績値	139	140	142	
			目標値	0	0	0	
定義		加美商工会色麻支所内の会員数					
B	割増商品券加盟店数	単位：件	実績値	79	77	61	
			目標値	0	0	0	
定義		割増商品券が使用可能な店舗の数					

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	商工会の行っている各種支援事業により、商工業者の商工振興に結びついている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	商工業者の負担軽減を図り、会員数を確保しながら活動基盤を確立していくよう促していく。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	商工会の組織率や商工業者間の団結力がある。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	商工業の振興を図ることは、地域活性化に結びつく大切なことであり、町民の安定した生活がおくれるよう、まちづくりの一環として行政の支援が必要だが、商工会も会員数の増加、事業収入拡大等による自主財源の確保等の努力が必要である。

⑪	課長総括評価 今後継続して実施していくが、地産地消を促す体制づくりが必要とされる。
合計点 50	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		中小企業融資対策事業				
	担当課・係名		産業振興課 商工観光係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	03 生き生きと働くチカラ	
		款	07 商工費		中分類	03 観光業と地域商業の振興	
項		01 商工費	小分類		03 地域商業の振興		
目	01 商工振興費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		41,366	41,224	42,400	40,550	40,000
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	5	0	0	0
一般財源		41,366	41,219	42,400	40,550	40,000	
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町内商工業者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
資金調達を円滑化させる。 制度資金利用者の実質負担を軽減させる。							
⑤	事業概要						
<ul style="list-style-type: none"> ・低金利で貸付けするための原資を指定金融機関へ預託 ・商工業者の負担軽減のための信用保証料の補給 ・信用保証協会が代位弁済を行った場合の損失補償 							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
世界的な金融不安の影響による中書企業の資金調達環境の悪化に対し、低金利で融資を行い、中小企業の負担を軽減させる必要がある							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
中小企業信用保険法、色麻町中小企業振興資金融資規則、色麻町中小企業振興資金融資要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名				H28	H29	H30	
A	融資金額	単位：千円	実績値	2,000	50,450	18,150	
			目標値	0	0	0	
定義 中小企業融資対策事業							
B	融資件数	単位：件	実績値	1	6	3	
			目標値	0	0	0	
定義 融資実施件数							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名				H28	H29	H30	
A	預託金	単位：円	実績値	40,000	40,000	40,000	
			目標値	0	0	0	
定義							
B	取扱金融業者数	単位：社	実績値	3	3	3	
			目標値	0	0	0	
定義 <ul style="list-style-type: none"> ・七十七銀行 中新田支店 ・古川信用組合 中新田支店 ・仙台銀行 中新田支店 							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	中小企業者等の負担軽減を図ることで、融資を受けやすくなり、自立度を高めることに有効である。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	町独自の事業であり、中小企業者等の負担軽減を図っている。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 14	資金調達の円滑化を図る手段として、保証料補助は有効である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	融資に係る利子については、基本的には資金調達者である中小企業者等が自己負担すべきものであるが、利子補助により負担軽減を図ることで資金調達が容易となり、自立度を高める有効な手段となっている。

⑪	課長総括評価 合計点 48	本事業の実施により、設備投資、運転資金等を調達することが容易となっている。町内商工業者の事業運営に貢献しており、今後も継続していく。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	